

事業所名

ココボルト横浜

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちそれぞれの「個」と「個」をツナグ場所（ボルト/扉）でありたい。ママたちに徹底的に寄り添い、ご家庭での医療的ケアを可能な限り高度に再現する									
支援方針		代替コミュニケーションの論点整理を確実にし、非言語的サインの理解と活用を常に念頭におくことで、子どもたちの小さなサインを丁寧に読み取れるように配慮する。私たちは、子どもたち一人ひとりの目の動き、顔の向き、声の出し方、体の動き、表情の変化など、発する微細なサインを注意深く観察し、それが何を伝えようとしているのかを理解する努力を決して怠らない。得られたすべての情報をスタッフ間でタイムリーかつ一斉に共有し、共通認識を持つことが大切にします。スタッフからの非言語的表現、子どもたちに分かりやすいよう、ジェスチャー、表情、声のトーンなどを意識してしえんを行います。									
営業時間		10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得、生活におけるマネジメントスキルの育成を目指します。 支援内容：手洗い・うがい、着替え、排泄などの日常生活動作の習得、健康状態の把握と対応、規則正しい生活リズムの形成、医療的ケアが必要な場合はその適切な実施。									
	運動・感覚	姿勢保持や運動・動作の基本的技能の向上、身体の移動能力の向上、保有する感覚（視覚、聴覚、触覚など）の活用、感覚の特性への対応を目指します。 支援内容：理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション、バランスボールやサーキットトレーニングなどの運動、感覚遊び（造形遊び、自然の中での活動など）、身体の使い方や感覚の統合を促す活動。									
	認知・行動	認知の特性の理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、行動障害への予防と対応を目指します。 支援内容：物の機能や属性、形、色などの概念形成、時間や空間の構造化、環境の適切な認知を促す支援、ワーキングメモリを養う活動、行動のきっかけとなる概念形成。									
	言語 コミュニケーション	言語的・非言語的コミュニケーションの獲得と活用を目指します。 支援内容：挨拶、お願い、拒否などの表現の練習、絵カード、サイン、ジェスチャー、IT機器などを活用したコミュニケーション支援、相手の表情や意図を読み取る練習。日常生活の活動や要求を伝えるために、具体的な絵やシンボルを用いたカードを使用します。お子さまが選択しやすいように、数や配置を工夫します。コミュニケーションブック/ボード：頻繁に使用する言葉や要求、選択肢などをまとめたコミュニケーションブックやボードを作成し、指差しや視線で選択できるようにします。									
	人間関係 社会性	アタッチメント（愛着）の形成と安定、情緒の安定、他者との関わり（人間関係）の形成、遊びを通じた社会性の発達、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加を目指します。 支援内容：集団活動への参加促進、「個」に役割分担のある遊び、他児との交流機会の提供、居心地の良さを実感、習得、自分の気持ちを伝える代替手段を発見する。									
家族支援		ご家庭での医療的ケアの方法や、お子さまの好きなこと、興味のあること、小さなサインなどについて家族から情報を収集し、家庭内と同様な医療的ケアの一貫した再現と環境体制を築きます。					移行支援		卒業後の社会活動、インクルージョン推進の観点から、多角的な視点で可能性を見出し、地域資源との連携を模索する。また、そのための関係機関との連携を日常的に維持する。		
地域支援・地域連携		子どもたちが接するあらゆる地域資源、支援者、学校、行政との接点を全てにおいて関係構築を実践し、合同カンファレンスへの積極的な参加、主体的に機会創出を行う。					職員の質の向上		ICT、DX等の積極的な活用による情報の一斉受発信、タイムリーな情報共有を実践している。あらゆる資格取得の促進と費用負担を企業が負担することで教育機会を逃さない。		
主な行事等		季節感のあるイベントごとの創作・制作活動、他社を圧倒するクリエイティビティ、感性、クオリティを求めている。兄弟児や他家族との交流のためのWS開催。地域イベント（かながわアートホール主催：楽絵ん祭）への実行委員としての参加、周知、利用者招待、学校行事へのボランティア参加等。									